



広報 しんちく

1995. No.289

©発行と編集／新地町役場・企画振興課(〒979-27 福島県相馬郡新地町谷地小屋字萩崎40 0244622111・FAX623194)

特集

夢を育む

町づくりアシケート調査から新地の将来像を考える



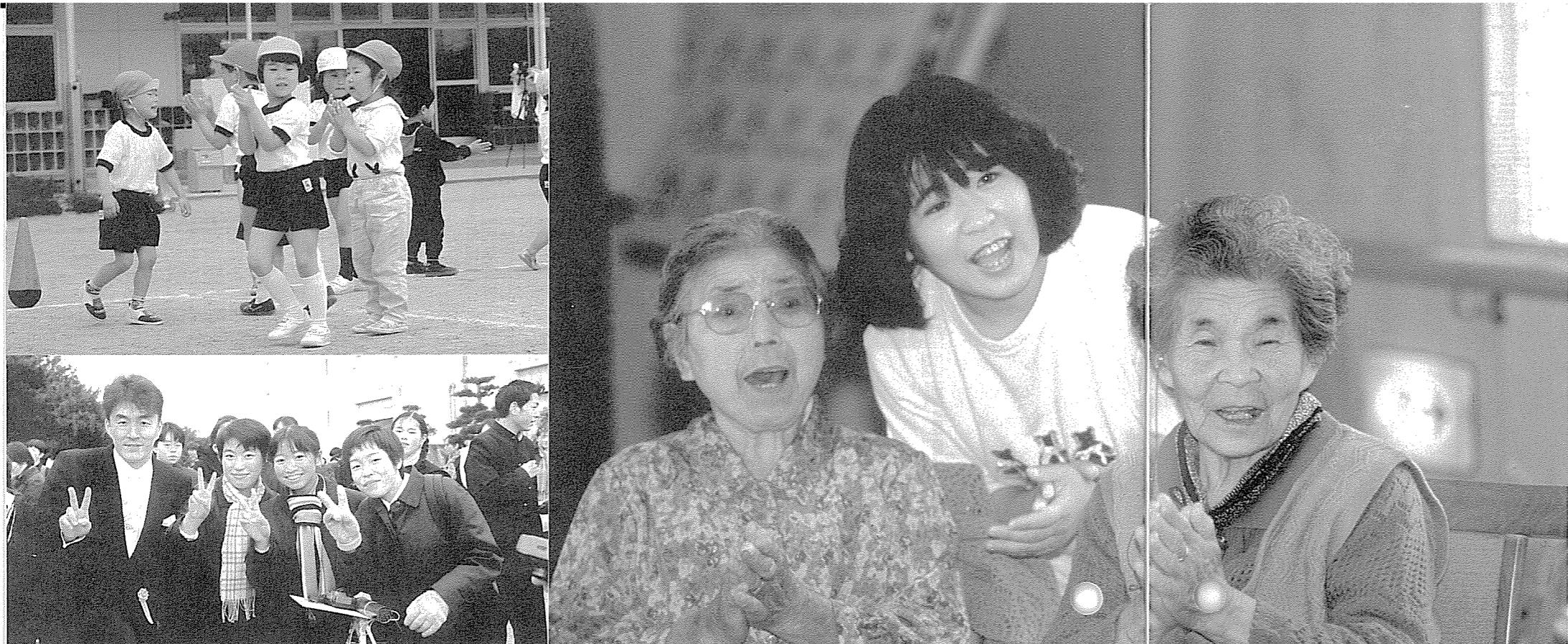
主な内容

総合計画アシケート	2~7
相馬共同火力発電所 2号機運転開始	8
町民大学開催	9
脳ドック参加募集	10
結婚相談所開催 海浜公園オープン	11

心をみたすまちづくりを目指して

一九八〇年代から九〇年代にかけて日本人の意識は大きく変化してきたと言われます。それは一口でいえば「生活の質」を大切にしようとする志向がはつきりとしてきたということです。いかえれば、経済的な豊かさを心の豊かさにつなげていくような、「魅力ある町づくり」「文化の薫りの高い魅力ある生活の場づくり」が求められています。

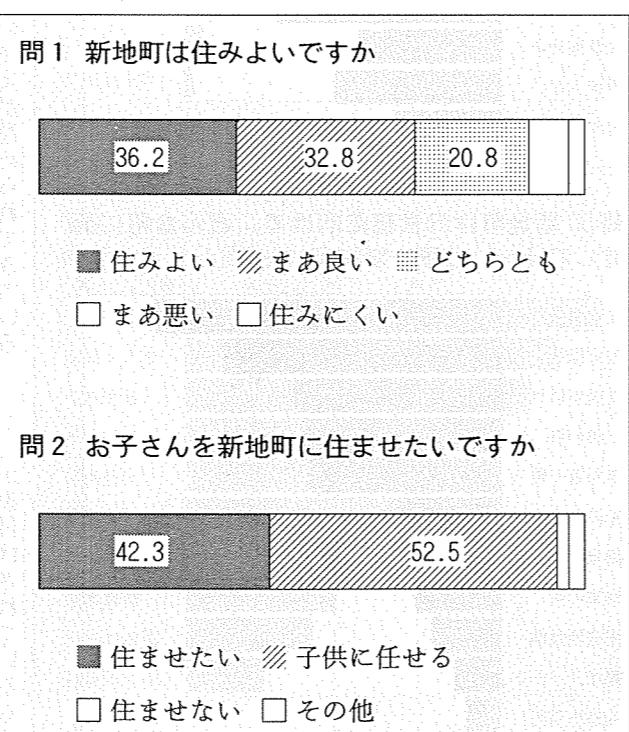
もとより、魅力とはそれぞれの地域、地方で違うもので、それは悠久の歴史の中で培われた文化や自



▲いいまち、いい笑顔、いい仲間

まわせたいですか。
「子供に任せる」が五二・五%、「住ませたい」が四二・三%とほぼ全体を2分し、「子供に任せる」が若干上回っています。前回調査との比較では、「子供に任せる」という回答割合が上昇し、子供の意見を第一に考える世代への移行が伺えます。

職業別の農林水産業で、また、古い世代で「住ませたい」という回答が目立ち、地区別では、新しい世帯の多い新地区において「任せる」という回答が目立っています。土地持ちかどうかで回答が変わっているようです。



町の良さは 快適な自然

問3 新地町を住みよいと思うのはなぜですか。
「気候温暖で災害が少ない（快適な自然）」が六八・〇%と圧倒的に多く、続いて「豊かな自然」が五三・八%と町の優れた自然環境を住みよいとしています。地区別では、差はなく、年齢別みると二十代での「豊かな自然」が六四・九%、四十代での「快適な自然」が七二・〇%、七

十代以上での「人情味」が三
後に続く

働く場が少ない 買い物が不便

七・八%がそれぞれ平均回答を上回っています。
若い世代では自然環境、古くから集落で暮らす年代では、自然環境とともに人情味などの要素が加わった住み良さをそれぞれ感じ取っているようです。

問4 新地町を住みにくい、または子供を住ませたくないと思うのはなぜですか。
「就業の場がない」が三七・一%と最も多く、「買い物が不便」が三〇・二%、「交通が不便」が二八・八%と生活の不便さをあげる回答が目立っています。また、「干渉される」が二十四・四%、「古い囚習」が二一・五%と、地域社会への不満が目立っています。

男性は交通の不便さや道路の未整備を、女性は買い物の不便さ、娯楽が少ないといった回答が多くみられました。いずれの年代においても、商業環境の充実、就業の場の創出といった町の活力をつくの方策が求められていると言えます。

この町が好き！ 7割が住みよさを実感

問1 新地町は住みよいですか。
「住みよい」が三六・二%、「まあ住みよい」が三三・八%と、回答者の七割が住みよないと答えています。「どちら

問2 本人の選択は
お子さんを新地町に住むこと。
とも言えない」が二〇・八%と四人に一人を占め、「住みにくい」「どちらかといえば住みにくい」が一〇・二%とどまっています。五年前のアンケート調査との比較では、

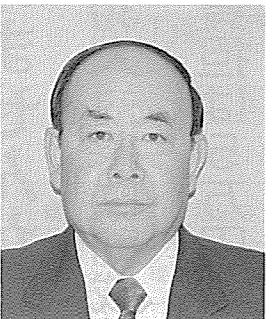
住みよさをあげる回答が多くなっており、町づくりの進展を伺える結果となっています。年代別で見ると、年代が高くなるほど、また職業別では農林水産業が住みよさをあげる回答が目立ちました。

アンケート

目的	町総合計画、都市計画策定の資料のため
調査対象	町内全世帯(2,196世帯)の20歳以上の方
回収票	1,863
回収率	84.8%

質問項目 21項目にわたり選択方式による

収入役に 三國孝之氏(63歳・高田) 再任・4期目



プロフィール

福島県立相馬高等学校卒業
駒ヶ嶺村役場就職 昭和26年3月
住民課長 昭和41年5月～昭和47年3月
総務課長 昭和47年4月～昭和58年6月
収入役 昭和58年7月～現在

任期満了に伴う収入役選任
が七月定例議会で行われ、三國
孝之氏(高田)が再任されました。
三國収入役は四期目で、任期
は七月一日から四年間です。

初回は同大行政社会学部の
藤松素子助教授を講師に招き
「ボランティア活動と地域・
ボランティアには
継続性が大切

町公民館の生涯学習講座
「しんち観海大学」が六月四
日、農村環境改善センターで
開講しました。九月まで五回
にわたり福島大学の教授から
学び、幅広い分野での教養を
深めるものです。

町民大学『しんち観海大学』

「人が自然が輝く町づくり」

町づくり」と題して学びました。

藤松先生は、名古屋出身で

福島に来て二年目、社会福祉

論、地域福祉論の研究を続け

ています。また、学生時代か

ら多くのボランティア活動に

かかわってきています。

藤松先生は、ボランティア

の基本的な要件として、「自主

性」「公益性」「無償性」

「先駆性」「継続性」の五つ

をあげ、具体例をあげながら

もボランティア活動。自分で

出来ることから実践していくこと

もボランティア活動。自分でも

気持ちはよく暮らしていくこと

もボランティア活動。自分でも

多くの仲間を得て、共感しあ

うことが出来ると、ボランティ

アの素晴らしさを述べました。

講座には約三十人が出席。

当町でも一人暮らしや高齢者



▲福島大学助教授藤松素子先生による講演

多くの皆さん のご参加を

参加者の 声



富 榮七さん
(岡・66歳)

「自分が何かをすれば人のためになる」といった独りよがりな考えは、眞の貢献にはならず、また相手に力を与えることにもならないということがありました。眞のボランティアとは、理論をもとに自信を持つて地域に貢献することで、そのためには、ち密な洞察と調査、そして果敢な実行力が必要だと思いました。これらのボランティア活動に生かしていただきたいです。

ボーツのあり方」、四回が九月三日(日)、駒ヶ嶺公民館で「環境とともに生きる地域づくり」最終回が九月二十四日(日)、農村環境改善センターで「阪神大震災に学ぶ」。時間はいずれも午前十時から。受講料は無料です。多くの方のご参加をお待ちしています。

相馬地域開発史が完成
相馬共同火力発電所の計画から完成されるまでの約二十年の歴史を振り返りながら、また完成された記念にと、このほど「相馬地域開発史」を県と町、そして相馬市、地域振興整備公団の四者が作成しました。この開発史は、企画振興課または、公民館に保管されています。この施設の愛称を昨年から公募したところ二千件が応募。その中から、ふれあい施設が「わくわくランド」、と愛称が決まりました。



相馬共同火力新地発電所の専用石炭運搬船「新地丸」が、(総トン数約五万九千トン、載貨重量トン数約八九、九〇〇トン、全長約二四〇メートル)、満載時航海能力十四ノット) 今月七月十二日、相馬港五号埠頭に初めて入港します。

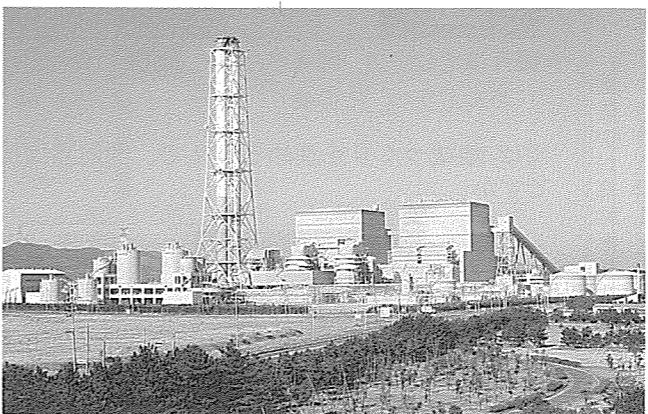


ふれあい施設「わくわくランド」

新地丸入港

相馬共同火力発電所

2号機運転開始



電源立地の町づくり

新地発電所の立地で、これまで町には国から電源立地対策交付金が交付され、基幹道路や町民グラウンドの夜間照明施設、消防ポンプ車の整備等をすすめています。ま

た、今年度から、昨年運転開始をした一号機の大規模償却資産税が、来年度には二号機分の同税が歳入として見込まれています。町では、これらの財源を活かし、道路の整備、教育施設などの整備を図っていくことにしています。

新地発電所ふれあい施設が10月オープン

相馬共同火力発電所の完成を記念し、地域の皆さんとの交流を図るために、「ふれあい施設」と「学習館」が(新地発電所正門周辺に面積約二、五〇〇平方メートル) 今年九月に完成、そして十月にオープンされる予定です。親子のふれあいや憩いの場、交流の場としてご利用いただけます。この施設の愛称を昨年から公募したところ二千件が応募。その中から、ふれあい施設が「わくわくランド」、

芝生広場と木製遊具、ハイテク噴水などが設置され、スポーツや催しものができる広場です。

学習館が「グリーンウイング」と愛称が決まりました。

「わくわくランド」には

芝生広場と木製遊具、ハイテク噴水などが設置され、スポーツや催しものができる広場です。

学習館が「グリーンウイング」と愛称が決まりました。

「わくわくランド」には

芝生広場と木製遊具、ハイテク噴水などが設置され、スポーツや催しものができる広場です。

学習館が「グリーンウイング」と愛称が決まりました。

「わくわくランド」には

石炭火力発電所の仕組みなどを体験し、遊びながら学習することができます。この施設の愛称を昨年から公募したところ二千件が応募。その中から、ふれあい施設が「わくわくランド」、

芝生広場と木製遊具、ハイテク噴水などが設置され、スポーツや催しものができる広場です。

学習館が「グリーンウイング」と愛称が決まりました。

「わくわくランド」には

石炭火力発電所の仕組みなどを体験し、遊びながら学習することができます。この施設の愛称を昨年から公募したところ二千件が応募。その中から、ふれあい施設が「わくわくランド」、

芝生広場と木製遊具、ハイテク噴水などが設置され、スポーツや催しものができる広場です。

学習館が「グリーンウイング」と愛称が決まりました。

「わくわくランド」には

脳ドック受けませんか

60歳以上30人対象に助成

個人負担は5万円

昨年から始まった“脳ドック受診”に助成事業。広報紙で募集と同時に多くの町民から申し込みがあり、先着順で二十人の方が受診をしました。

受診により異常が発見され、直ちに手術し、無事完治された方もいました。

今年は、昨年申し込んだ者が

多かったことから、対象人員を十人増やし、三十人としました。対象年齢は昨年と同様に六十歳以上の方です。

受診料も昨年と同じで、一万六千円のうち町が六万六千円を補助し、個人負担は五万円です。先着順ですので、お早めにお申し込んでください。

ただし、昨年町の助成を受け、受診された方は除かせていただきます。



脳ドックとは

脳ドックは、CTやMRI診断をはじめ、医学の進歩によって全く苦痛を伴わずに、画像として脳の精密な検査が可能です。これと共に今回の検査では、脳卒中などの成人病の発症に深く関連する血圧の日内変動、脂肪代謝、糖尿病、心臓機能なども行って、生活指導をします。

脳ドック対象者は次ぎのとおりで、定員になりしたい締め切りますので、お早めにお申し込んでください。

募集対象	六十歳以上の方
募集定員	三十人（先着順）
受診費用	十一万六千円（内個人負担五万円）
受診する病院	国立療養所宮城病院 申込は、役場保健環境課 (☎ 62-2111)へ。

脳ドックの日程

1日目	AM10:00	受付	→	問診	→	診察	→	血圧測定
	→	心電図検査	→	胸部写真	→	MRI	→	MRIによる脳血管検査
2日目	→	携帯型血圧記録開始	→	CT	→	終了	→	本日は当院に一泊していただきます
	→	受付	→	採血	→	糖尿病検査	→	結果説明
	→	生活指導	→	食事指導	→	終了	→	詳細な報告書は、後日郵送されます
	PM2:00							

受診を希望する方は



▲メモリアルクルージング'94のツアーでみんな楽しく

町の結婚相談委員

職名	氏名	住 所	電話
会長	黒田 昭夫	谷地小屋字中島67	62-2061
副会長	横山 光男	福田字大町49の2	62-2385
委員	林 隆雄	真弓字水神30	62-4103
"	片平 公子	谷地小屋字高田62の5	62-2231
"	渡部 美	駒ヶ嶺字東雨溜25の18	62-3089
"	目黒 清文	駒ヶ嶺字北沢81	62-3664
"	寺島 昭幸	駒ヶ嶺字金子坂64の2	62-3305
"	杉平 廉宏	福田字大町53の2	62-2597
"	目黒 美津英	福田字諷訪90	62-2371
"	水戸 修子	谷地小屋字新地59	62-2797



加藤邦昭さん

相談は毎週水曜日、午前十時から午後三時まで農村環境改善センターで行います。また、手紙や電話、自宅での相談にも応じています。また、以前からご協力をいたいている媒酌の経験豊か

結婚相談は任せください 加藤邦昭さんが町の 結婚相談所長に!!

今年三月現在における町の三十歳以上四十四歳までの未婚者は、男性が二百十五人、女性が四十九人で、未婚者対策が課題となっています。町ではこの問題を真剣に受け止め、これからの一助として、結婚相談所を設置し六月十二日、相談所長に加藤邦昭さん（岡・六十七歳）を委嘱しました。

町では、皆さんのが気軽に参加できる行事を企画して、多くの出会い、ふれあいの場ができるだけ提供していきます。

出会いの場を提供

な十人の結婚相談員の皆さんと共に連携を図りながら、町がかかえている結婚問題に取り組んでいきます。

潮風にあたって気分爽快



左から、半谷沙織さん、林賀代子さん、荒井理沙さん

設備もきれいに整備されていて、テニスコートでは、ボールが弾んでとても使いやすくて、これからもたくさん利用したいと思います。公園を使用した時は、後から使用する人への思いやりを大切にしたいですね。

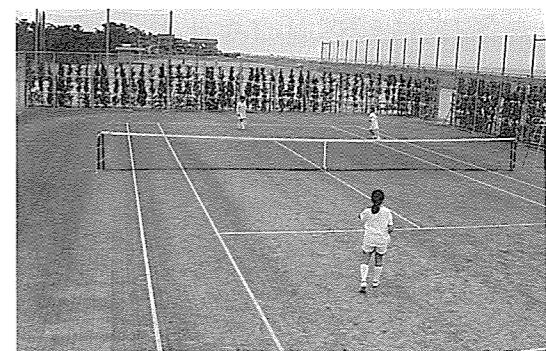
海浜運動公園オープン

園オープン

使用方法

一時間当たり
多目的運動広場 二〇〇円
テニスコート 二〇〇円
ゲートボール場 二〇〇円
福祉の向上のために使用する場合は無料。
問い合わせ先
役場総務課 (☎ 62-2111)

さわやかな潮風にあたりながらスポーツを楽しむことができる運動施設として、『海浜運動公園』をこのほど釣師・堺浜に開設しました。事業費が約一億五千万円。公園の敷地面積は約一・四ヘクタールで、テニスコートが一面、ゲートボール場が二面、多目的運動広場、修景施設、公園などが設けられています。また、百台駐車可能な大駐車場が完備されており、海水浴客もご利用になります。健康増進や交流の場として、公園を多くに活用してください。



▲町初のテニスコート



▲きれいに使おう水洗トイレ

▲大洋が望める公園

町の話題

あなたの周りの身近な話題をお寄せください。

特養「新地ホーム」

「ふれ愛」すしパーティー

誕生会を兼ね、「ふれ愛」屋台のすしパーティーが5月24日、同ホームで行われ、小松寿司の渡邊敏三さんが腕によりをかけた寿司をいただきました。この屋台は、鶴田清さん（菅谷）から寄付されたもの。入所の皆さんは、お腹も満腹になり大喜びでした。



初のパチンコ大会

特養新地ホームのパチンコ大会が6月22日、レジャーランドレインボー（伊藤英助社長）でにぎやかに行われました。「人生の楽しさを知つてもらい、父の日のプレゼント」と、同店の協力を得て大々的に開催。参加した25人の皆さんはいつもよりも、いきいきと輝いていました。



新地高・新地保 サツマイモ苗植えに挑戦

新地高家政科の保育実習による、3年生42人と新地保育所の児童57人が同高校で6月2日、サツマイモの苗植えを行いました。お互いペアを作り児童たちも大はしゃぎ。大きく育つようにと心をこめて植えました。秋には、またみんなで手煮会をする予定です。



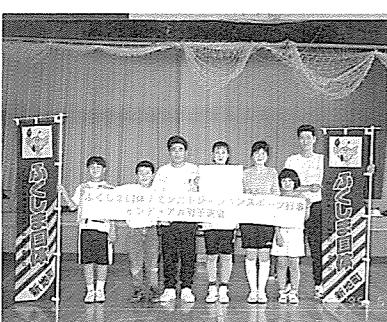
後藤實（富倉）、畠米七（岡）
渡部英之（小川）、寺島桂一（駒町）、遠藤新平（鉄炮町）

グラウンドゴルフ

ふくしま国体デモスポーツである、グラウンドゴルフ町予選会が5月28日町民グラウンドで、インディアカ町予選会が6月18日新地高校で行われ、それぞれ国体出場者が決まりました。



河内すえ子（富倉）佐藤榮三（小川）、桜井修（明地）、荒文雄（鉄炮町）、寺島オクニ（大戸浜）



福田ファンキーズ
加藤裕和（監督・木崎）、日黒克雄（木崎）、日黒静子（木崎）、長塚美智子（堺浜）

インディアカ

開催日
9月10日(日)
会場
鹿島町
(古殿町民体育館)
選手と応援する方が一体となってふくしま国体をみんなで盛り上げ成功させましょう。



盆栽愛好会による（会長三品好春さん、会員15人）皐月展が6月13日から16日までの3日間、今回、新地郵便局で行われました。色鮮やかなサツキなど30点が展示され、お客様の足元を止めていました。

皐月展開催

かんぽ料理教室が6月1日勤労青年ホームで開かれ、お年寄りを招待して昼食会が行われました。主催者を代表して荒和雄福田郵便局長があいさつ。福田小5年生22人が、お年寄りの皆さんに、新地小唄や三六五歩のマーチの曲に合わせて、可愛らしい振り付けの踊りを披露。昼食会に花を添えました。



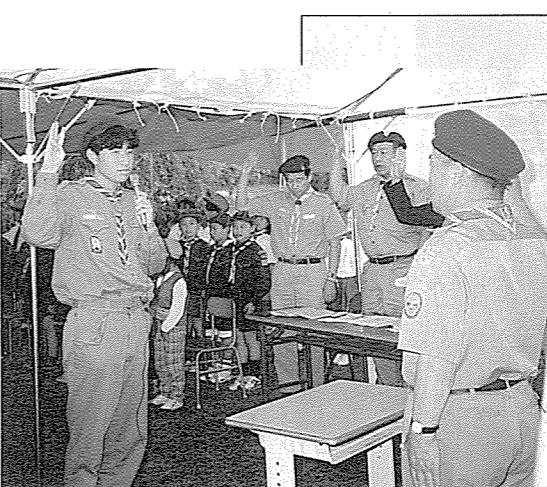
福田小児童ボランティア 踊りを披露

ボーリスカウト10周年で記念式典が行われ隊員約70人が参加しました。式典では、高校3年生の遠藤智哉さんが「スカウトのおきて」を唱和し、より一層の団結を誓いました。その後隊員は、同寺で一泊二日のキャンプや座禅会などをして交流を深めました。現在スカウトは33人で、友情を築きながら生涯教育を学んでいます。



簡保シルバーダンス教室開催

簡易保険加入者協会主催の簡保シルバーダンス教室が6月15日、駒ヶ嶺公民館で開かれ、町内お年寄り約80人が参加しました。日黒達三駒ヶ嶺郵便局長のあいさつの後、参加者は「好きになつた人」の曲でフォーカダンスや、ブルース、ポックスルンバなど日々の成果を披露しました。



開催日
10月15日(日)
会場
古殿町
(古殿町民体育館)

H 7.7.5. (1)

戦没者の遺族に特別弔慰金支給

国では戦後50年を迎えるに当たり、弔慰金を支給します。対象となるのは、平成7年4月1日現在、同一の戦没者について、公務扶助料や遺族年金などの支給を受ける方がいない遺族です。次ぎに挙げる遺族のうち、順序に従つて最も順位が先の方お一人に額面40万円の国債が支給され、平成8年から平成17年までの10年間にわたり年間4万円ずつ償還されます。

(1) 平成7年4月1日までに弔慰金の受給権を取得した方

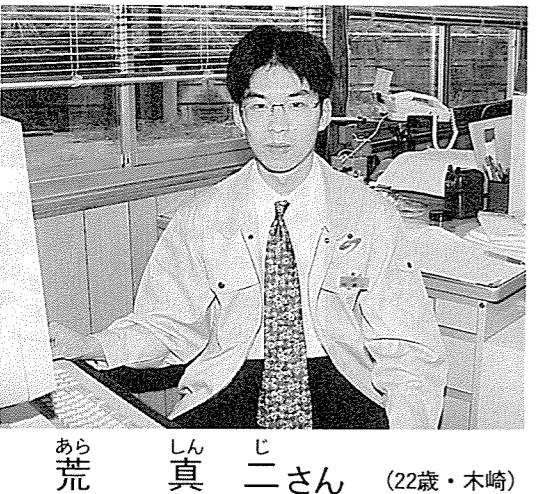
(2) 戦没者の子

お盆成人式8月15日

ご成人おめでとうございます。20歳を迎える人生の新たな旅立ちを記念して成人式にご参加ください。
日時 8月15日(火)午前9時~(受付8時30分)
場所 農村環境改善センター
内容 式典・アトラクション
対象 昭和50年4月2日~昭和51年4月1日に生まれたかた。

頑張るマン

35



あら しん じ
荒 真 一さん (22歳・木崎)

パソコン操作が大好き

仕事姿が一段とりりしく見えるがんばるマンは、今年五月から相馬地方広域水道企業団で働いている荒真二さんです。真二さんは、東京の大学で国文学の現代文学科を専攻し今年四月に卒業しました。読書が好きで、暇な時には小説などを読んで頭の中をリラックスしています。趣味はパソコン操作で、私つてパソコンおたくなんですよ……なーんちゃつて”と真面目な表情の中にも

ひょきんさを隠しもつていて、真一さんの違う一面を目
ることができました。「それからお酒も大好き、みなさ
今度私を、飲みに誘つてください」と一言。
仕事先の先輩からは「仕事熱心で、とても気が利くん
ですよ」と、とても好評です。最後に理想の女性は?と聞い
たところ”とても明るい人がいいですね”と少しばかり
ながら答えてくれました。

鮭 (秋) 西谷あや子さん (釣師) 作

一 材 料

- ・鮭
 - ・コンブ
 - ・野菜

— 作り方 —

- ①身を三枚におろす。
 - ②頭を焼く。
 - ③圧力ナべで骨を蒸す。

※鮭を全部使用すること

町の文せ

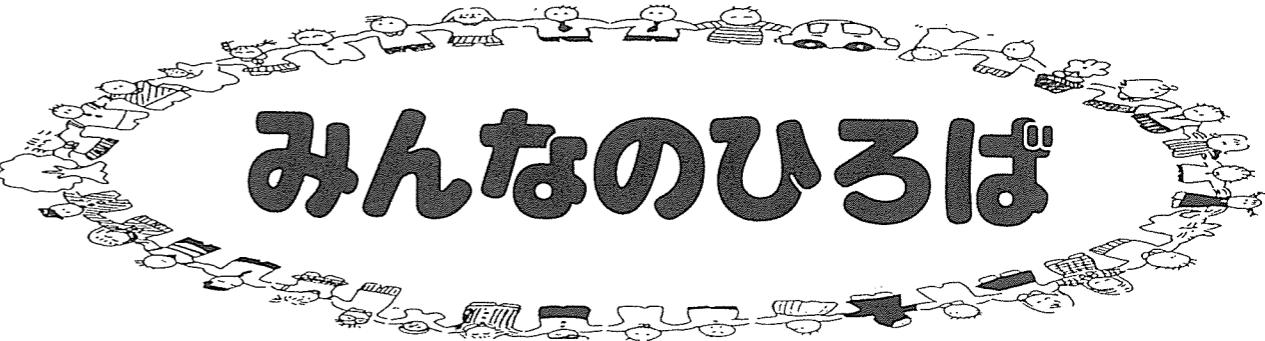
野ぶどう会

北寄船卯浪に乗りて港入り
筒鳥の一節のみにして去りぬ
北の辺り生家の跡や麦の秋
力満つ鎧ふくるゝ牡丹の芽
共嫁ぐ一戸建てなり茄子の花
躍動の力溢れて豆芽吹く
泥池に飼われて金魚すばしこく
浮雲や桐の花散る草の音
夏の来て投薬の数一つ増え
すかんばの呆けてはしゃぐ休耕

渡辺たかお	代光富峰	あるもので済ます書餉や初夏の
加藤白穂	挨拶の出来る子と逢ふ青田風	濠跡と覚しき所青田なり
横山芳美	新緑のまつたゞ中に憩いけり	
寺島馬城	更衣鏡をのぞく子の姿	
代家健	朝陽さすさゞ波まぶし青田かな	
石田渭城	新樹光古館城址山法師	
林よし子	万緑やそれぞれの色満ち足りー	
斎藤清子	古代豆うす紫の干の春	
桜井ヨシ子	夏近し文字の消しあと口で吹き	
田辺邑子	さみだるゝ支え來し足うずく日	

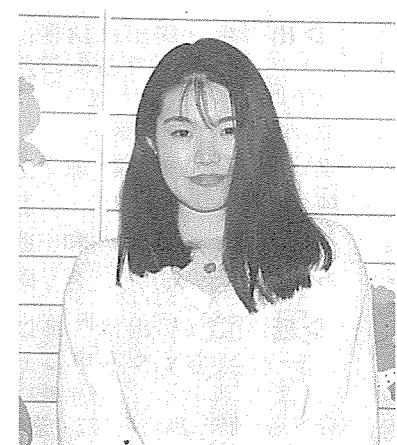
志茂尚子 菅野京
高橋トク 小野トメヨ
荒 やす子 寺島ユキ
佐藤 都 佐藤
佐藤芳子 斎藤とも子
野地せい子 辻 麗ら

みんなのひろば



やっぱり保母さんに!

さわがさん



こじまみかさん
(昭和49年3月1日生誕・富倉)

お勤め先は六月から、相馬市の斎藤歯科医院で助手の仕事をしています。それ以前は福島市で保育園の保母さんをしていて「子供が大好き」と明るい笑顔でのご登場は、小島美香さんです。

◇趣味はなんですか

☆短大の時からピアノを弾き始めて、今では、『アンチエインドメロディー』という曲を弾けるようになります。

◇どういう先生を目指したいですか

☆子供にも個性や人格があつて主張もそれぞれありますから、子供一人ひとりをちゃんと理解してあげたいですね。

◇町にたいして要望がありますか

☆大きな公園を作つてほしいです。

二十年近く風邪一つひいたことがないというハツラツおばあさんは、笑顔がとつてもチャーミングな阿部トミさんです。健康法は?と聞いたところ、「食事に気を付けていて甘いものはたんと食べないね」とトミさん直伝の健康法を教えてくださいました。その他にもう一つ、とつておきのがあって、それは今年で二歳になるひ孫さんにあるみたいです。子守をしながら、「この子がお嫁さんになるま



阿部トミさん（84歳・岡）

で丈夫でいられたらしいな」と思うんだそうです。

トミさんは、庭掃きや風呂^{風呂}^{おふろ} 炊^く^ごきを毎日、朝夕の日課にし ており、日ごろから体を動か しています。お友達と一緒によ 温泉^{ゆの湯} 温泉^{ゆの湯} に遊びに行くのがとても 楽しみに待ち望んでいます。

ブロイラーを営んでいる息 子さんご夫婦も一緒になって 今回の取材に答えてくれまし た。トミさんいつまでもお元 気でみんなに笑顔を見せてく ださい。

ひ孫がお嫁さんになる日まで
元氣でいたい

▲百隻の漁船パレードで心がスカッ!!

今年も夏が来た!! 遊海しんち'95

今年も『遊海しんち』が八月五日、釣師浜海水浴場で開催されます。しかも『'95』はさらにパワーアップ。内容は花火大会、ビーチバレー大会、ホッキ狩り、漁船パレードはもちろん、新たなイベントも開催する予定です。またゲストに、元プロボクサーの渡嘉敷勝男さんをお呼びする予定。

皆さんと一緒に、新地のイベントを成功させましょう。

遊海しんち実行委員の熱きパワー



左から鈴木豊さん(副・大戸浜) 武澤成典さん
(委員長・釣師) 目黒壽恵さん(副・新地町)



▲1,000発の花火で夜空が燃える



▲みんなで体験する地引網は楽しい



▲ビーチバレー夏のスポーツはこれ!

お母さんが作ったカレーライスと自転車に乗るのが大好きという洗貴くんは、天気の良い日は、ペダルを踏んで 스스로遊んでいます。洗貴くんには一歳になる弟がいて、一緒におもちゃで仲良く遊んだり、ブランコに乗った弟の背中をおしてあげたりと、とってもやさしいお兄ちゃん。「誰にでもやさしい子に育ってほしいですね」とお母さんの尚子さんから洗貴くんへメッセージ。

編集後記

どんなよりとした雲のした、心から新鮮な気持ちになりたくて、こんな詩を口ずさんでみる。

朝のリレー

カムチャツカの少年が、きりんの夢を見ているとき、メキシコの娘は、朝もやの中でバスを待っている、ほほえみながら寝返りをうつとき、ローマの少年は、柱頭を染める朝日にウインクする、いつもどこかで朝がはじまっている、どこか遠くで目覚まし時計のベルが鳴っている、それはあ

あなたの送った朝を、誰かがしっかりと受けとめた証拠なのだ
(一部省略)

今回、総合アンケートで町の皆さんのがたくさん声を聞くことができました。その声をしっかりと受け止めていきた
いなと思います。

(M)



わが家の アイドル



若佐 洗貴くん
(2歳11ヶ月・上真弓)